



BARDRAL
URAYASU



CHIBA JETS
FUNABASHI



OBIC
SEAGULLS



CHIBA LOTTE
MARINES



CHIBA
ZELVA



JEF UNITED
ICHIHARA
CHIBA

KEIYO TEAM6

京葉線沿線トップスポーツチーム 2017年 活動報告

ACTIVITY REPORT 2017

REPORT 1

「京葉ベイサイドラインプロジェクト」
「KEIYO TEAM6」
ラッピングトレインお披露目
イベント！

8月1日、J.R.京葉線海浜幕張駅で「We are KEIYO TEAM6」京葉線、行こうぜ応援！「KEIYO TEAM6」ラッピングトレインが走ります！京葉ベイサイドラインプロジェクトのラッピングトレインお披露目イベントを開催。ラッピングトレインは10月末まで京葉線で運行されました。

2016年8月より実施されている京葉ベイサイドラインプロジェクトは、J.R.京葉線沿線に本拠地を持ち活動するスポーツチーム、バルドラル浦安（フットサル）、千葉ジェッツふなばし（バスケットボール）、オービックシーガルズ（アメリカンフットボール）、千葉ロッテマリーンズ（野球）、千葉ゼルバ（バレーボール）、ジェフユナイテッド市原・千葉（サッカー）の6チームを「KEIYO TEAM6」として、J.R.東日本千葉支社と連携してプロモーションを行い、スポーツによる京葉線の沿線地域活性化を推進しています。そして、2017年度は昨年よりさらにパワーアップしたプロモーションを展開しました。



『KEIYO TEAM 6』ラッピングトレイン運行



REPORT 2

「ランランフェスティバル」
第4回ランランフェスティバル
in 蘇我に出場！

第4回ランランフェスティバルin蘇我を、12月17日に蘇我スポーツ公園で開催。例年同様に1周2.5kmのコースを小学生とその保護者で一緒に走る親子ランからスタートし、毎回常連のランナー家族から今回初めて参加するという家族まで1000組230名様が参加しました。



グループランでは38組259名が参加し、今年もとにかく楽しんで走ろうというチームからタイムを競う競技志向のチーム、仮装して走るチームなど様々な顔ぶれでスタート。スペシャルゲストにはオリンピック3大会連続出場日本トライアスロン界の第一人者の上田藍選手が参加。また、今年は全日本実業団駅伝にも出場経験のあるJ.R.東日本ランニングチームのほか、KEIYO TEAM6連合チームとして千葉ゼルバの古家康隆監督、上田日登コーチ、浅野晶選手、関根翔太選手、齋藤貴紀選手、市川一樹選手、そしてバルドラル浦安デフィオから泉洋史選手、堀川恭良選手、ジェフトップチームの江尻篤彦コーチが参加し、大会を大いに盛り上げました。





KEIYO TEAM6 ACTIVITY REPORT 2017



REPORT 4

「ジェフ千葉×オービックシーガルズ共催イベント」 「サッカー＆フットボール教室」開催

8月16日、サッカーJ2のジェフ千葉とオービックシーガルズの共催イベント「サッカー＆フットボール教室」が蘇我のフクダ電子スクエアで行われました。今年で5年目になるイベントには87名の小学生が集まり、7名の講師とともにサッカーとフットボールをたっぷり楽しみました。



お盆前からずっと天気が悪く、この日も降水確率80%。開催は厳しいかと思われましたが、子どもたちの思いが強くたおかげで、14時には雨が上がり、最後の記念撮影までほとんど雨が降ることなく終えることができました。今年もたくさんの子ど



もたちが集まり、楽しい時間を過ごしました。

イベント終了後は、ジェフ千葉がフクダ電子アリーナで行われるホームゲーム（VS湘南戦）にイベント参加者を無料招待しました。オービックシーガルズのコーチ陣も招待され、J2の首位を走る湘南戦に参戦しました。



REPORT 3

「順天堂大学フォーラム」 SAKURA 未来プロジェクト講演会 「スポーツの力で子どもの未来を変える」に参加

7月2日、千葉県文化会館にて、SAKURA 未来プロジェクト講演会「スポーツの力で子どもの未来を変える」にKEIYO TEAM6として参加しました。

SAKURA 未来プロジェクトとは、2020年東京オリンピックの創生を目指して順天堂大学スポーツ健康科学部が設立した特別プロジェクトです。世界で活躍できる選手およびスタッフの育成、パリンピックの支援、地域連携の強化、国際交流の推進、研究成果の発信、スポーツ施設の有効活用などを通じて、我が国のスポーツ振興に貢献しようとするものです。このプロジェクトにはスポーツ選手、指導者、スタッフ、サポーター、研究者、スポーツ振興の実践家らも参加し、市民の皆様と協働しながら日本のスポーツを



盛り上げていく予定です。

「プロスポーツの取り組み」の部分で、Jリーグ東日本トップスポーツ連動プロモーションの取り組みを紹介、千葉県文化会館大ホール外のスペースにブースを設置し、市民との交流やチームの活動紹介も行いました。

REPORT 6

「ジェフ千葉のマスケット、ジェフがKEIYO TEAM6の仲間のホームゲームを訪問」

2017年、ジェフユナイテッド市原・千葉のチームマスケット「ジェフ」は、KEIYO TEAM6の仲間のホームゲームを何度も訪問しました。千葉ジェッツふなばしではジャンボくんや千葉ゼルバでは試合前の選手たちと記念写真を撮ったり、ファンの皆さんとも仲良くなりました。一方、5月13日には、バルドラール浦安の5人の選手たちが、ジェフの応援にフクダ電子アリーナに来て、ジェフのサポーターの皆さんとも触れ合いました。



ジェフ訪問の際は、各チームのファンの方へジェフホームゲームの優待チラシを配布したので、チラシを受け取った方が、ジェフのホームゲームに応援に来るようになりました。ジェフにとってもとても大きな喜びです。これからもジェフを見かけたら仲良くしてください。



REPORT 5

「千葉ジェッツ×オービックシーガルズチアリーディングコラボ」 千葉ジェッツふなばし×オービックシーガルズがチアリーディングコラボ



7月22日、八坂神社の祭礼にあわせて開催される「津田沼ふれあい夏祭り」に、KEIYO TEAM6とともに活動しているオービックシーガルズの専属チアリーダーSEAI Cheerと、千葉ジェッツふなばしの専属チアリーダーSTAR JETSが参加。会場の皆さんと声をあわせて「レッツゴー津田沼」コールや「オービック」コールなど、多彩なパフォーマンスを披露しました。STAR JETSとチアスクールのパフォーマンスでは、カメラ片手に撮影する方が目立ちました。



そのほか、千葉ジェッツふなばしのグッズ販売やブースタークラブの入会案内も行い、ともに地元を盛り上げていく気持ちを確認しました。